

研究実施のお知らせ

2026年2月11日 ver.1.0

研究課題名

人工股関節全置換術後早期の歩行能力に関連する因子を明らかにする後方視的研究

研究の対象となる方

2024年6月から2026年2月の間に島根大学医学部附属病院で股関節の疾患に対して人工股関節置換術を受けられた方。

研究の目的・意義

人工股関節全置換術は重度の股関節疾患に対する手術療法で、痛みの緩和や股関節機能の改善の効果が優れており、術後の日常生活動作の向上をもたらします。特に股関節疾患によって歩行に支障を生じている患者さんにおいては、この手術によって歩行能力が回復することで行動範囲が広がり、生活の質が大きく向上することが期待できます。術後の歩行能力の回復に関連する因子として、過去の研究では術前の筋力や術後早期の筋力の回復が重要であると報告されていますが、これまでの研究は術後1か月以降から1年程度の歩行能力を調べたものがほとんどです。そこで、人工股関節全置換術後早期の歩行能力にはどのような因子（年齢、性別、筋力、股関節機能など）が影響するのかを調査する研究を計画しました。この手術の入院期間は2週間ほどですので、術後のリハビリテーションもこの時期に限られます。この研究で術後2週間の歩行能力に関連する因子が明らかになれば、入院中のリハビリテーションの有効性を高めることに繋がると期待されます。

研究の方法

この研究では島根大学医学部附属病院の電子カルテ内に記録されている、患者さん自身の年齢や身長・体重といった個人データ、股関節可動域、股関節周囲筋力、歩行能力と、股関節の機能を評価した評価票を用います。診療で用いた検査結果のみを使用しますので、研究のために新たに検査を追加することはありません。

研究で用いる情報は氏名を削除したうえで取り扱うため個人が特定させる心配はありません。

研究の期間

2026年03月23日～2027年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院リハビリテーション部 福谷早耶香

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年9月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院リハビリテーション部 福谷早耶香

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2457 FAX 0853-20-2305